

2018年6月29日

報道関係者各位

株式会社東急コミュニティー

第2回「日本サービス大賞」優秀賞を受賞 ～快適なマンションライフとコミュニティー創りのサポート～

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：雑賀克英）は、第2回「日本サービス大賞」で優秀賞を受賞しましたのでお知らせいたします。

【日本サービス大賞とは】

サービス産業生産性協議会が主催する、多岐にわたる業種の多様なサービスを共通の尺度で評価し、優れたサービスを表彰する制度です。これは日本政府が成長戦略の一環として創設した賞で、優良事例を広く普及することで、サービス提供事業者のより一層の士気向上やイノベーションを促進することを目的としています。



日本サービス大賞
NIHON SERVICE AWARD

第2回 日本サービス大賞 優秀賞

快適なマンションライフとコミュニティー創りのサポートの取り組み

今回、当社が評価を受けたのは、創業以来行ってきた「快適なマンションライフとコミュニティー創りのサポート」の取り組みです。

昨今、マンションでは建物の高経年化と居住者の高齢化という「二つの老い」が課題となる中、当社は1970年の創業当初から社名にコミュニティーを冠し、居住者のコミュニティー形成に取り組んできました。豊かさや安らぎを実感できるコミュニティーを形成していくために、「建物価値」だけでなく、住み心地の良さという「居住価値」にも目を向ける必要があるとの考えから、2006年には業界に先駆けて「マンションコミュニティー宣言」を制定しました。これにより、「良質な社会的ストックの形成」と「健全な地域コミュニティー」を社内外に約束し、個々の管理組合の特性を捉えた上で、資産価値向上に繋がる様々なサービスを積極的に提案してきました。

また、マンションの災害対策は、コミュニティーの形成を含めた「共助体制の構築」が重要との認識で、コミュニティー形成のサポートと併せ、防災用品チェックリストや災害対策ガイドブックを配布するなど、お客さまの災害に対する不安を安心に変えるサービス「対災力」を展開してきました。

これらのサービスが、居住者の生活の質を下支えするインフラとなるとの評価をいただき、今回の受賞に至りました。



2018年6月28日、ANAインターコンチネンタルホテル東京で行われた表彰式の様子（安倍総理も出席）

これからも、全国で33万戸のマンションの管理を受託する総合不動産管理会社として、管理受託するマンションにお住まいのお客様にとって、身近で生活に寄り添う存在を目指し、高齢化への対応や自然災害にも備える総合的なサービスを提供してまいります。

【リリースに関するお問合せ】

経営企画部広報センター（担当：谷地・伊藤）